

にゴミを捨てない。ゴミが落ちていたら拾う。川に生き物や植物を放たない。」ようにしたいと思った。また、「自分たちが川の水をどのように使っているか知りたい。」と思ったので浄水場を訪ねたり、下水道の出前講座を開いてもらったりした。「今の川のことを知ってほしい。」との想いで絵手紙を作成して、環境保全について呼びかけた。学級役員さんがせっかく川の学習をしているのならと親子活動で川でのカヌー体験などを計画していただき、親子で川のきれいさを体感し川を楽しむことができた。

これからも身近な自然や生き物を大切にして、このきれいな川を守っていきたい。

多伎小学校の発表内容

多伎町はイチジク、道の駅キララ多伎、海岸などで有名だ。児童数 123 名の学校からは日本海が一望できる。5 月にはそのキララビーチの海岸清掃にも参加した時の感想では、「子どもから大人までたくさんの人が楽しく遊ぶところなのにこんなに汚いなんて！他の場所も汚いのかな？きれいであってほしいし、きれいにしたい」と思った。

調査は 7 月 2 日に大田市に近い町西部を流れる宮本川の上流、田儀櫻井家たたら製鉄跡遺跡で行った。

天気は晴れ、気温 28 度、水温 19 度、透明度 100cm。パックテストでの調査では COD 6.5、COD0.8 の結果だった。水生生物ではきれいな水にすむヒラタカゲロウ類が 20 匹、カワゲラ類が 15 匹、ヨコエビ類が 8 匹、サワガニ 2 匹などだった。きれいな水とややきれいな水の両方にすむ生き物ではタニガワカゲロウ類が 4 匹、チラカゲロウ 3 匹だった。

水質判定では水質階級 I の「きれいな水」であった。

川の調査や海岸清掃を通して感じたことは「今の私たちが未来の環境を変える」という大事な役割を持っていることを感じたので、これからも環境問題に取り組んで行きたいと思った。



【出雲市立多伎小学校の発表】

意見交換会

子ども達を含め、ほぼ全員の皆様に感想や意見、生き物の情報提供をいただきました。



【会場での意見交換会】

出雲市教育委員会 教育政策課 学校管理第2係主幹 梶谷悟氏 総評

皆さんの発表を楽しみながら拝見し、川、環境のことをよく考えて、工夫しながら調べたり発表したりしている姿に、とても心を打たれました。

須佐小学校4年生、多伎小学校4年生ともに、身近にある川に入って水質や生き物のことを調べたり、自分たちにできることをみんなで話し合ったりと、一つ一つの取り組みに温かい気持ちがこもっているのが感じられました。

「環境をよりよくしたい」という思いが、今日の皆さんの言葉や表情からしっかり伝わってきました。

また、お互いの発表を見聞きしたことが刺激になり、活発な感想交流もできました。

環境を守るためにできることは、小さなこと、例えば、学校や通学路などで落ちているゴミを見つけたら拾う、水道を出しっぱなしにしないなどを続けていくことが大切です。今日の発表で見つけた気づきを、これからの生活の中でも生かし、周りの人たちへもぜひ広げていってください。皆さんの行動がきっと佐田町、多伎町の未来を明るくしてくれます。

最後になりますが、この発表会の開催にあたりご尽力されたしまね体験活動支援センターの皆様をはじめ、須佐小学校、多伎小学校の先生方、保護者、各関係機関・関係者の皆様に敬意を表し、総評いたします。

この他にも来賓としてお越しいただいた出雲河川事務所副所長 真庭利幸氏、一般社団法人中国建設弘済会島根副支部長 安立宏氏、出雲市環境政策課課長 川上寿氏、出雲科学館館長 曾田浩司氏からも感想や励ましの言葉を頂戴しました。誠にありがとうございました。



左上真庭氏
右上安立氏

左下川上氏
右下曾田氏



【感謝状・記念品贈呈】



【発表者・関係者記念撮影】

NPO 法人しまね体験活動支援センター 青木充之理事長あいさつ

今まで19年間成果発表会と見てきたが、両校の発表は今まででも特に優れた発表だったと思う。ご指導いただいた先生方、保護者、関係者の皆様方に感謝申し上げます。

小学生の皆さんの調査活動を通じて川に直接入って調査した体験は得難いものなので大切にしてほしい。

今後も私たちしまね体験活動支援センターは体験活動を支援して行くので、今回の体験を大人になってから活かされること願っている。来年はNPO法人設立20周年を記念

して8月に出雲市・出雲市教育委員会との協働事業として「夏の川遊び体験会」を計画しているので、ぜひご参加ください。ありがとうございました。



NPO法人しまね体験活動支援センター
出雲市・出雲市教育委員会との協働事業

夏休み親子自然体験推進事業

みんな集まれ！ 夏の川遊び体験会

立久恵峡 わかあゆの里

神戸川で魚釣り



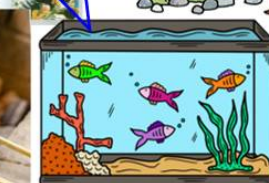
神戸川の水質調査



川原や遊歩道の自然観察



魚の飼育相談



水遊び



ストーンアート

ヤマメ・アユの塩焼き



川の生きもの水槽で展示他

発表会に参加した児童と関係者=6日、出雲市今市町の出雲科学館



須佐小と多伎小児童

身近な川調査で
学びの成果発表

斐伊川・神戸川流域環境マップづくり

出雲市今市町の出雲科学館で6日、「2025年 第19回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり」の成果発表会が行われ、出雲市立須佐小学校、同市立多伎小学校の児童が身近な川の豊かさについて発表した。NPO法人しまね体験活動支援センター(青木充之理事長)の主催。

環境マップづくりは、両河川流域の学校が参加し、子どもたちが川での調査体験活動を通して学んだ気づきや環境への願いを地域へ発信していくことをねらいとして、毎年行われている。今年も、小中高7校が参加し、その内の2校が発表した。須佐小学校は、4年生が6〜7月にかけて須佐川と神戸川の水質(透明度、CODなど)と水生生物を調査。両河川とも水質は

良好で、きれいな川に住むカワゲラ類、ナガレトビケラ類などの水生生物が多数見つかったと報告した。また、川の水のことを知りたいたと町内の浄水場を見学したり、川のことをみんなに知ってほしいと絵手紙を描いて校内に展示したりした。この日、発表を行った桐原巨平君と伊達瑞桜(みお)さんは「生き物のたくさんいる川は私たちの宝物。これからもきれいな川を守っていききたい」と力を込めた。

多伎小学校では、4年生が地域を流れる宮本川を4月に調査。透明度が100センチ、CODが0.8で、ヒラタカゲロウ類やカワゲラ類などの水生生物も多く見つかり、水質階級Iのきれいな川であることが分かったと報告。多くの鳥やカシカガエルの鳴き声が聞こえる豊かな環境に子どもたち自身も驚いたという。発表した岩崎紗(すず)さん、岡村天地君、品川快志君、柳樂莉杏のあひさん、濱朝陽君の5人は「こんなきれいな川がいつでも残ってほしい。ゴミを拾うなど、私たちができることを続けていきます」と誓った。青木理事長は「生き物を見つけて、名前まで調べて発表していたことに感心した。安全を確保しながら、今後多くの子どもたちに川に入る体験を通して自然の豊かさを知ってほしい」と話した。各校の調査結果は主催団体が整理し、報告書やホームページで公表する予定。

調査について

調査場所の選び方]

〔調査に適した川とは・・・〕

この調査を行う川は、大きくても小さくてもかまいませんが、水の深さが 30cm 位までで、流れのある(流速 30～40cm/秒位)、川底にこぶしや頭位の大きさの石が多い場所で調査できるような川が適当です。ただし、調査地点の近くに、川底が泥で覆われているところしか見つからない場合には、そこで調査してもかまいません。なお、川底が一面コンクリートの場所、ヨシなどが川全体をおおっているような場所、水の流れのない場所は避けてください。

また、生物の調査は、川岸から少し離れたところで行うのが原則ですが、岸に近いところでも調査してください。本流から離れた ワンドや溜まり水は別に記録してください。

危険防止のための注意事項

〔調査は安全第一で〕

調査に危険を伴うような場合(当日川の水量が多い場合や水流の速さが早い場合)には、別の場所を探してください。危険防止にはくれぐれも注意してください。

〔基本的注意事項〕

- 1.調査は3～5人のグループごとに行ってください。1人だけの行動は大変危ないので止めて下さい。
- 2.川の流れは思った以上に速いものなので、流れの速さを確認してから川に入るようにして下さい。
- 3.調査は、川底が見えるところで行ってください。水深としては 30cm 位までのところとし、これよりも深いところには危険ですから入らないようにしてください。
- 4.川底に空きカンやガラスピンなどが落ちていて、川の中にはだして入るのが危険な場所もあります。長ぐつをはくか、ぬれてもよいクツをはいて調査して下さい。サンダルなどすべったりするはきものや流されそうなはきものは止めましょう。
- 5.川底が急に深くなったり、やわらかい泥で足を取られたりすることがありますので、十分に気を付けて歩いて下さい。
- 6.川底が、コケなどで大変すべりやすくなっている場所もありますので、ころんだり、すべったりしてケガをしないように十分に注意して下さい。また、川の中に入るときには、壊れやすいものや先のとがったものは身につけないようにして下さい。
- 7.大変きたないと思われる場所で調査する場合には、ビニール手袋やゴム手袋などはめて調査して下さい。
- 8.万ヶケガをした時や蜂に刺されたりした時のため、病院の場所や緊急時の連絡方法について事前に確認しておいて下さい。

調査の仕方:

調査の仕方はすでに国土交通省より各学校に送らせていただきました「川の生きものをしらべよう」水生生物による水質判定—環境省水環境部・国土交通省河川局編—21 ページ・22 ページを参考にして調査して下さい。

知ってて楽しい調査の知識

指標生物について

川の中には多くの水生生物が息していますが、その中には、その生物の存在から水の汚れを判定できる指標生物がいます。このパンフレットでは、それらの水生生物の中から、以下の点を考慮して指標生物を選定しています。

- ①全国的に見つけることができ、ある程度の個体数がいて、夏の期間は必ずいる種であること。
- ②だれにでも見つけることができ、似ている種が少なく、区別が簡単であること。
- ③水温が0～30℃位の所にいる生物を対象に、水温に対しては幅広く生きることができるが、『水のごれ』に対しては敏感で、指標性の高い生物であること。
- ④水深の浅いところに息している生物であること(具体的には、水深 30cm 程度以下)。
- ⑤原則として、指標生物には、昆虫類、貝類、エビ類、カニ類から、それぞれの水質階級に対応した生物を選定すること。

なお、ここで示した指標生物については、以下の事項に留意する必要がある。

- ①指標生物は、原則として全国的に生息している(沖縄を除く)ものであるが、オオシマトビケラは、東北地方以西に、サワガニは北海道以南に生息している。
- ②河川延長の短い河川では、出水によりすべての生物が流されてしまうことがあり、そのような河川では、水生生物による水質評価が困難であることが多い。
- ③指標生物に、トンボ類やカゲロウ類が少ないが、その理由は、これらの生物が水の汚れに対する水質階級の広い範囲に生息しており、指標性が乏しいためである。

「川の生きものをしらべよう」水生生物による水質判定—環境省水環境部・国土交通省河川局編—より抜粋

斐伊川・神戸川の水質の環境基準

斐伊川 本川 AA 1mg/ℓ 神戸川 上流 AA 1mg/ℓ ・ 下流 A 2mg/ℓ

水中の生き物調査シート I

グループ名・
参加者名：

調査年月日	令和年 月 日		時 分	天気
河川名	調査場所		気温	℃
川幅・水深	m	cm	調査参加人数	人
水質階級	指標生物		それぞれの欄に見つかった指標生物の数を記入し、結果欄に○印をつける。その内最も多かったもの2つに○印をつける。○1点・2点で階級別に集計比較。	
			指標生物の数	結果
I きれいな水	1 カワゲラ類			
	2 ヒラタカゲロウ類			
	3 ナガレトビケラ類			
	4 ヤマトビケラ類			
	5 アミカ類			
	6 ヨコエビ類			
	7 ヘビトンボ			
	8 ブユ類			
	9 サワガニ			
	10 ナミウズムシ			
I と II の両方で見られる生物 (指標生物ではない)	チラカゲロウ			指標生物ではない
	タニガワカゲロウ類			指標生物ではない
	ニンギョウトビケラ類			指標生物ではない
	ヒゲナガカワトビケラ類			指標生物ではない
II ややきれいな水	1 コガタシマトビケラ類			
	2 オオシマトビケラ			
	3 ヒラタドROMシ類			
	4 ゲンジボタル			
	5 コオニヤンマ			
	6 カワニナ類			
	7 ヤマトシジミ			
	8 イシマキガイ			
III きたない水	1 ミズカマキリ			
	2 ミズムシ			
	3 タニシ類			
	4 シマイシビル			
	5 ニホンドロソコエビ			
	6 イソコップムシ類			
IV とてもきたない水	1 ユスリカ類			
	2 チョウバエ類			
	3 アメリカザリガニ			
	4 エラミミズ			
	5 サカマキガイ			

水中の生き物調査シート II

グループ名：
参加者名：

その他水辺で見られた生物
川のようなす (水辺のようす・ゴミの状況など)
水辺のようす
川の中のゴミ
川原のゴミ
釣った魚の種類 (調査地点周辺で釣ったことのある魚)
その他(PH・COD 等の調査を行った学校はここに結果を記入してください)
調査に参加した感想や水辺への近づきやすさなどをお書き下さい

2025年度 第19回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり 調査参加者数一覧

	学校等名称	担当者	春調査	夏調査	秋調査	延べ人数	参加学年	
飯南町	飯南町立赤名小学校	石飛 佳杜			32	32	3・4年生	
	飯南町立志々小学校	川上 真理恵			2	2	3・4年生	
出雲市	出雲市立神戸川小学校	飯塚 守			104	104	4年生	
	出雲市立遥堪小学校	浅沼 美咲			21	21	4年生	
	出雲市立須佐小学校	川上 嘉晃	28			28	4年生	
	出雲市立多伎小学校	橋添 修弥	25			25	4年生	
	出雲市立佐田中学校	悪天候のため実施できず						中学1年生
	出雲西高等学校	新田 篤生		11	10	21	高校1・2年生	
夏休み親子で宍道湖環境調査		事務局		11		11	4～6年生 中学生	
合 計			53	22	169	244		

* 同じ時期に複数回河川環境調査を実施した場合には延べ人数で表記した。

* 統一性を図るため、7月11日以降8月31日までを夏調査とした。

春夏秋の調査を合わせると延べ244人参加（通算すると子どものみで延べ17,280人）

2025年 調査参加校マップ



2025年 指導教員対象アンケートの結果

今年度の活動に関して、2025年冬に実施した指導教員等アンケートには、参加7校の全ての学校から回答をいただきました。

設問と回答結果

1. 本年度の実施について総合的に評価するとどうでしたか。

大変よかった	4人(57%)
よかった	3人(43%)
よくも悪くもなかった	0人
悪かった	0人
大変悪かった	0人

(回答数 7)

2. 来年度も協力して実施したいと考えていますか。

実施したい	5人(71%)
実施したくない	0人
わからない	1人(14%)

(担任・担当・児童の課題によって、実施の有無が決まるので)

その他 1人(14%)

(本校は複式でA・B年度方式なので、来年度は実施することができません。)

(回答数 7)

3. 先生方を対象にした専門家による河川調査の指導が来年度も必要ですか。

必要である	5人(71%)
必要でない	0人
わからない	2人(29%)
その他	0人

(回答数 7)

4. 事前指導者研修会についてご意見・ご感想をお願いします。

- ・ 今回、研修会での川調査のやり方を動画にしてまとめてくださったので、それを児童とともに見ることで川調査のやり方を事前に確認したり、再確認したりすることができました。見通しをもって調査を実施することができ、非常に助かりました。
- ・ 川調査の際に、講師の方がいらっしゃらない場合は、事前指導者研修会で川調査のやり方を教えていただくことが大切だと思います。
- ・ 事前研修は、児童に調査の意義や方法を伝えるのに大変有意義なものだと思います。参加させていただいた様子を動画にして、児童と何度も見て参加をしました。
- ・ 研修会には参加できなかったため、ありません。
- ・ 初めて実施したので、事前の研修会により、見通しを持つことができました。ありがとうございました。
- ・ これまで、校務の関係で参加したことがありません。予定が合えば、参加させていただければと思います。
- ・ 今年度は参加しておりません。

5.. 要望・感想など自由にお書き下さい。(マップづくり・成果発表会についての感想など)

- ・ 秋の調査のみでしたが、子どもたちの川への関心が高まるよい機会となりました。子どもたちで川についての課題を見つけ、自ら課題解決に向けて学びに向かう姿を、神戸川調査を通して見られました。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。
- ・ 川調査を通して、志々の自然の豊かさを改めて実感することができました。子どもたちにとって身近な川ではあるのですが、きれいさを確かめる機会はなかなかないので、貴重な経験をさせていただいたと思います。川調査後、「川のきれいさを守らないと、川に住む生き物を守れない」といった思いが生まれたり、学校付近の用水路でタニシを見つけた際には、「この水はきたない水なんじゃないかな...?」と考えたりする姿がありました。
- ・ 今回のやり方は難しくないし、マップを見ても十分資料として活用できる情報があるから、いいと思う。
- ・ 貴重な体験をさせていただきありがとうございました。
- ・ 教員のみで、指導・活動を行っていくことには、難しさを感じました。今後も調査活動を手伝っていただけますと助かります。
- ・ 調査させていただく生徒は変わりますが、毎年参加させていただいており、長い年数調査をさせていただいております。生徒達にとっては、高校生になって改めて調査をさせていただくことで、小学生の頃には気付かなかったことや理解しにくかったこと等も学ぶことができ、とても有意義な時間を過ごさせていただきました。調査結果を毎年確認すると、調査地点の河川の様子・状況が良く分かります。改めて生徒達と共に、調査の重要性を実感すると共に、河川を守っていきたく強く思いました。
また来年度も調査に参加させていただければと思っております。宜しくお願い致します。

夏休み親子体験活動 宍道湖環境調査

参加者アンケート(大人用)

【参加した動機】

・親子で参加する体験活動だったため。・こういったイベントがあることを教えてもらい子どもの夏休みの思い出になればと思い、また自由研究にもなるかなと思って参加しました。・夏休みの思い出として近場で、親子で参加出来る体験があればと思い申し込みました。・子どもたちは斐伊川の水質調査(水生生物調べ)をしたことがあり、宍道湖の環境調査にも関心があるからと思って参加しました。また、宍道湖を周囲から眺めることはあっても、湖上に行ったかとはなかったのも、親子でいい体験ができると思ったから。・子どもが魚釣りが好きで、3才くらいから川や海と一緒に魚釣りに行っています。家の前の川にこいの大きなサイズがいるので、それをつかまえたくてからスタートしました。だから、こいのことを調べていくうちに川のことや湖のことを調べて、自由研究にしようと思って参加しました。・子どもの夏休みの宿題。・夏休みの学びとして。

【参加して良かったところ】

・宍道湖の水を使い、さまざまな方法で調査できたこと・クイズがあつて楽しかった・島根県環境保健公社の方がていねいに指導して下さったこと・宍道湖について、今まであまり勉強をしたことがなかったのも、そうなんだと思うことばかりでした。湖に住む生き物にも聞いたことのない名前ばかりで探すのがおもしろかったです。・親子で実験や水質、生物調査など普段出来ない貴重な経験をさせてもらい子供も楽しんでいたので良かったです。・子ども達は経験もあり、特に水生生物を肉眼で探してみることは楽しかったようです。水の透視度でも水質をはかることができることも改めて分かりました。宍道湖に関連したいろいろなクイズも出していただき、大変勉強になりました。

・遊覧船に乗ってゆったりしながら子どもと調べたり、少し他の方とお話をしたりして、とても良かったです。よい思い出になりました。教えてくださる先生方が、本当に何でもよく知っておられて、それも楽しかったです。専門の方のお話しはやはり違うなあと思いました。・宍道湖にいる小さな生き物について全然知らないものばかりだったので学べてよかったです。身近な宍道湖について大人も子どもも興味を持つことができた。しじみは水をきれいにしてくれる大切な存在であることを知ることができた。・宍道湖の水質関係について知れて良かった。

【悪かった点や改善して欲しいところ】

・安全面でも子ども達に配慮をしていただき、安心して活動に参加することができました。はくちょう号の中も大変快適で、特に改善点は思いつきません。

【その他自由意見】

・水質調査だけでなく、お茶などが混じった時のCODを測ったり、シジミの浄化実験をしたり、2時間でとても充実した調査内容で楽しかったです。・親子でとても貴重な体験をさせていただきました。・講師の方々も分かりやすく丁寧に教えて頂きありがとうございました。・親子いっしょに環境について考える機会をいただいてとてもよい体験になりました。昔は身近だった自然も、取って出かけたり出会わせたりしないとふれあう機会が少なくなっていると感じます。未来にもつながっていく豊かな自然や宍道湖を守っていく行動を心がけていきたいです。・自由研究に遊覧船に乗ってたくさんの生物を見つけて楽しかったことや水がジュースなどで汚れることを書きました。

夏休み親子体験活動 宍道湖環境調査

参加者アンケート(子ども用)

【参加したいと思ったのはどうしてですか？】

・宍道湖についてくわしく知るために参加したいと思った。(小5)・宍道湖の生物が知りたかったからです。(小6)・学校でも習ったし興味があったから。(小5)・私は斐伊川の上流に付近に住んでおり、学校や地域での活動で、水質・水生生物の調査を行ったところ「とてもきれい」ということを知り、その水が流れ込む宍道湖はどうなっているのかを知りたいと興味を待ったため。(中3)

【宍道湖について分かったことは何ですか？】

・宍道湖の水はヤマトシジミが多かったのも、ややきれいだとわかった。(小5)・カワグチツボなど湖にいる貝たちがきれいにしていること。・海洋ごみが何十年何百年かけてゴミがこまかくなること・ヤマトシジミがたくさんいることが分かった。湖をきれいにしてくれるヤマトシジミがすんでいるから宍道湖がきれいだと分かった。(小5)・宍道湖は斐伊川以外の川からも水が流入しているだけでなく、海水も交じる汽水湖だということが分かった。水質・水生生物調査から「ややきれい」な水であることが分かった。(中3)・いろいろな生物が宍道湖にいたとはしらなかったけど、まなべてよかったです。(小4)・いろいろな生き物がいることが分かった。(中1)

【これから宍道湖をどのようにして行きたいと思いましたか？】

・ゴミをすてないように、宍道湖の水を大切に使用したい。(小5)・川や海にゴミをすてないようにして行きたい・きれいな水質のままたくさんの生物が生きている湖になってほしいと思いました。(小6)・ゴミをひろったり、よごれた水を流さないようにしたい。(小5)・まずは「きれい」な水にするためにはどのような活動をすればよいかを知り、自分達には何ができるのかをあらためて考える必要があると感じた。そして、ただ考えるだけではなく、これから先の未来をよりよくするためにもボランティアなどの地域の活動の計画・実施・参加が何より重要になってくるので、この3つを大切に、自分もボランティア活動をしようと思った。(中3)・ゴミがすててあったらひろう。(小4)・アクエリアスなどすてないようにしていきたいと思った。(小4)

【その他自由に感想を書いてください。】

・宍道湖をもっともっときれいにしよう努力したいと思います。(小5)・じっけんもたのしかったしせつめいも上手だったこと・海洋ごみが分解されて細かくなる年数が、アルミかんは200年でペットボトルやオムツは400年で、つり糸は600年で、どれも海や湖にすてられたらすごく分解するのが大変だからすてないようにしたいと思いました。(小6)・島根県の顔ともいべき存在の宍道湖を実際に調べてことで、新たな魅力や改善していくべき事態について知ることができてよかったです。まずは身近な斐伊川から!「きれい」を守れるように努めていきたいと心から思えました。子どもの時期から身近な課題に触れる貴重な体験ができることは、とてもよいものだなと思います。これからも皆様お体に気を付けて活動を続けていってください。ありがとうございました。(中3)・宍道湖にいろいろな生き物がいてびっくりしました。(小4)・生き物をさがすのがたのしかったです。(小4)・さらによく分かって楽しかった。(中1)

(当法人で抜粋して掲載しました)

斐伊川・神戸川流域環境マップづくり 2025年報告書

学校名・施設名等 飯南町立赤名小学校

担当者名 石飛 佳杜

対象河川名 神戸川 実施時期 秋

*夏の調査期間は7月11日から8月31日までとしています。

取り組み状況 (河川環境の状況、学習での取り組み、指導者・ボランティア等について)

〔参加学年等〕 3, 4年 〔参加者数〕 秋調査 16人

【秋の調査】 ○調査地：神戸川中流（わかあゆの里）

〈調査日〉2025.10.10（金） 〈天気〉晴れ 〈気温〉25℃ 〈水温〉19.1℃

〈一番多かった指標生物〉カワゲラ 10

〈指標生物〉ヒラタカゲロウ 10 ヒラタドロムシ 7 コオニヤンマ 3 カワニナ 5

〈その他の生物〉ドロエビ 3 タビトサナエ 1

〈水のきれい度〉ややきれいな水

〈COD〉5~10 〈pH〉7

〈水辺の様子〉1週間前に大雨が降り、その影響からか
普段よりも若干水量が増え、濁っていたように感じる。

〈講師の先生〉岩崎知久先生

○調査地：神戸川源流（女亀山）

〈調査日〉2025.10.14（火） 〈天気〉くもり 〈気温〉18.8℃ 〈水温〉11.5℃

〈一番多かった指標生物〉ヨコエビ 30

〈指標生物〉カワゲラ 4 ヘビトンボ 2 サワガニ 15

ナミウズムシ 2

〈その他の生物〉サンショウウオ 3

〈水のきれい度〉きれいな水 〈COD〉0 〈pH〉7

〈水辺の様子〉水深はとても浅く、澄んだ水が流れている。

〈講師の先生〉門 真一郎先生



子どもや教師・地域等の感想 (子どもの反応や反省点、要望等)

○水を飲んでみると、普通の水道水と全く違い、とてもおいしかった。

○川の中には小さな生き物がたくさんいることがわかった。

○サワガニやサンショウウオを見つけることができてうれしかった。

○指標生物を数えるのが大変だった。

○見たことのない生き物がたくさんいてびっくりした。

○神戸川には、たくさんの生き物が住んでいることが分かった。

○生き物によって、住んでいる場所が微妙に違った。(サワガニは丸太の下など)

○小さい生き物が多かった。

○きれいな水だと思っていたけど、水質調査をしたら、きれいな水だと分かってうれしかった。

斐伊川・神戸川流域環境マップづくり 2025 年報告書

学校名・施設名等 飯南町立志々小学校

担当者名 川上 真理恵

対象河川名 神戸川 実施時期 秋

*夏の調査期間は7月11日から8月31日までとしています。

取り組み状況(河川環境の状況、学習での取り組み、指導者・ボランティア等について)

[参加学年等] 3・4学年 [参加者数] 秋調査 2人

<調査日>2025.10.10(金)

<天気>晴れ <気温>28℃ <水温>23℃

<一番多かった指標生物>ヒラタカゲロウ 6

<水のきれい度>きれいな水 <パックテスト結果> pH7、COD13

<その他の生物>ヒラタドROMシ4、ヒロアタマナガレトビケラ1、カワニナ5、
ヒル1、タニガワカゲロウ3

<水辺の様子>草が生い茂っていた。

川の中に入り、水生生物を捕まえたり、川の状況を直接感じたりすることができた。パックテストや、透視度計による水質調査も行い、神戸川の水のきれいさを多角的に考えることができ、児童から神戸川の水のきれいさを守りたいという思いが生まれていた。



子どもや教師・地域等の感想(子どもの反応や反省点、要望等)

○今日初めて神戸川の調査をして水生生物によって調べる方法、透視度計を使って調べる方法、パックテストで調べる方法で、水のきれいさを調べることができて良かったです。

水生生物によって調べる方法では、きれいな川に住む水生生物がたくさん見つかったので、神戸川はややきれいな川なんじゃないかなと思いました。これからもきれいな神戸川を守るように、ゴミ拾いをしたいと思います。

○調査をする前は、私たちの小学校の前に流れる神戸川はよごれていると思っていたけれど、きれいな水に住む水生生物がたくさん見つかったので、ややきれいな川だと知ってびっくりしました。また、水生生物を調べて、志々の神戸川でホタルが見られるのは、カワニナがたくさんいるからだと思いました。

斐伊川・神戸川流域環境マップづくり 2025年報告書

学校名・施設名等 出雲市立神戸川小学校
担当者名 飯塚 守
対象河川名 神戸川 実施時期 秋

*夏の調査期間は7月11日から8月31日までとしています。

取り組み状況 (河川環境の状況、学習での取り組み、指導者・ボランティア等について)

〔参加学年等〕 4年 〔参加者数〕 秋調査 104人

【春の調査】 2025.10.23 (木) 〈天気〉晴 〈気温〉18℃ 〈水温〉16℃

〈一番多かった指標生物〉ムラタドロムシ類 29

〈水のきれい度〉ややきれいな水

〈その他の生物〉カワゲラ類 17、サワガニ 5、ヒラタカゲロウ類 9、カワニナ類 5、
コオニヤンマ 3、タニシ類 21

〈水辺の様子〉川原は石がたくさんあった。川が曲がっている場所のため、少し先は水深が深く流れも速かった。一方、川原近くは、水が滞留していた。



子どもや教師・地域等の感想 (子どもの反応や反省点、要望等)

・たくさんの生き物がいてすごかったです。パックテストで緑色が出てきたのでこんなに汚いんだなと思いました。記録もちゃんとできたので良かったです。あと、いろいろな調査ができてよかったです。住んでいる生き物で川のきれいさが、分かるなんて初めて知りました。

・一人一人 COD パックの色が違ってびっくりしました。疑問が浮かびました。どうして一人一人の色が違うのと、ボランティアの人に聞いたら「入れる水の量が違うから一人一人の色が違うと教えてくれました。生き物は、きれいなことにいるのが多い虫や、ややきれいな川にいっぱいいる虫もいてそれぞれがどこにいるかは、分からないんだと思いました。

・COD パックテストでとてもきたないじゃなくてよかったです。でもそんな神戸川でもむぎ茶や飲みかけのスポーツドリンクなどを入れると、汚くなって汚さ最大になるのがわかりました。川には目に見えない、米粒より小さな生き物があるのでびっくりしました。みんなが使っている川なので、キレイにしてごみを入れないようにしようと思いました。

斐伊川・神戸川流域環境マップづくり 2025年報告書

学校名・施設名等 出雲市立遙堪小学校

担当者名 久野 純治

対象河川名 高浜川 実施時期 秋

*夏の調査期間は7月11日から8月31日までとしています。

取り組み状況（河川環境の状況、学習での取り組み、指導者・ボランティア等について）

〔参加学年等〕 4年生 〔参加者数〕 秋調査 21人

【秋の調査】2025.10.15（水）〈天気〉晴れ 20℃ 〈水温〉19℃

〈一番多かった指標生物〉ヨコエビ類

〈その他の生物〉カワナナ ブユ サワガニ

〈水のきれい度〉ややきれいと判断

・ pH 7 COD 5 mg/L

・ 透明度調査 100 cm

〈水辺の様子〉

- ・ 護岸は整備されているが、川底には砂・小石が堆積していた。
- ・ 川の流は普段通り、緩やかだった。
- ・ 川縁には草が茂っていた。
- ・ 川底には水草が生えていた。



子どもや教師・地域等の感想（子どもの反応や反省点、要望等）

・見た目は濁っているように見えたけど、バケツで水をすくうと、結構透明な水であった。川底が茶色いと思った。COD パックテストやpHパックテストでも、わりときれいな数値であり、予想と違っていた。

・護岸工事でコンクリートに囲まれている川だけど、思ったより生物がたくさんいた。

・高浜川は、北山から流れてくる水が集まってくるので、きれいな水だと思った。

・高浜川は、指標生物やパックテストの結果から、ややきれいな水だという結果が出たけど、これを維持していくために、地域の人たちで川がゴミを捨てたり、汚水を流したりしないことを実践していかないといけないと思った。